

利根川



VOL.17

2002 10月号

利根川水系農業水利協議会
群馬県支部情報紙

編集・発行 利根川水系農業水利協議会群馬県支部
〒371-0837 群馬県前橋市箱田町350
027-251-4105

会員施設紹介コーナー



追貝平土地改良区（追貝平取水口、^{ひらかわ} 平川第2砂防ダム）

追貝平土地改良区は、戦後の食糧増産という国策の中で、平川上流の砂防ダムの着工という好機に恵まれ、昭和28年に発足しました。

当地区は、^{ひらかわ} 片品川、平川、栗原川と大変水に恵まれていましたが、河川侵食によって高台にある農地では、自然通水を行える範囲が限られていました。

この土地に水を送る機を熟させたのが、平川第2砂防ダムの着工です。当時の関係者の努力により、当初の設計計画を変更し、堰堤の高さを追貝、平川の大地に合わせて建設されたのが、現在の取水ダムです。

このダムより取水する追貝平取水口は、現在、地域の営農や住民にとって欠かせない施設となっています。

追貝平取水口（昭和47年頃）



追貝平取水口（現在）



平川第2砂防ダム（昭和47年頃）



平川第2砂防ダム（現在）



岡登堰土地改良区（旧隧道内、大間々頭首工）



だいかんおかのぼりじろべいかげよしこう

岡登用水は笠懸野の荒野を潤すため、代官岡上次郎兵衛景能公によって寛文4年（1664年）から開削が行われ、同12年（1972年）に完成しました。

この工事は渡良瀬川右岸の岩盤を掘り割って導水口、隧道を造り流水させるという大変な工事でしたが、普通に取水できるのは非かんがい期間のみで、かんがい期間には取水口に3尺の戸を立てて塞ぎ止め、これを越した水しか引き入れできませんでした。そこで、景能公は冬の間貯水する事を考え「ため池」を造りました。

しかし、開削後数年間で荒廃したと言われ、その後、安政3年（1856年）に再興され、現在は国営事業によって造成された大間々頭首工を水源として安定した用水を確保し、管内の耕地を潤しています。



旧隧道内



大間々頭首工

用語解説コーナー



水利権のまえだお前倒し・うしろだお後倒しとは？

農業用水は、かんがい期間によって取水量が大きく変化するため、水利権の許可の際に期間別に水利権量を設定（取水パターンを設定）します。

前倒しとは、水稻の品種の多様化（わせまい早生米等）及び農業経営合理化による機械化の普及（若い苗を植えることから手植えの場合に比べ、田植えの時期は早くなり代かき期間は短縮されますが、その反面普通期は長くなります。）が進み、営農形態が大きく変化してきています。

後倒しがおきる主な要因として、品種によりおくてまい晩生米を植える地域もあり、田植えの時期が遅くなります。

このように、営農形態・取水期間が従前と変化し、かんがい期間が早くなることを「**前倒し**」、かんがい期間が遅くなることを「**後倒し**」と言っています。

水に関するコーナー



必要なときのために - ため池 Part.2

自然の川の水量は年を通して見ると、ずいぶん変わり水不足になるときもある。

もし、ため池があれば冬の間や梅雨の時期に水をためておいて、夏の水不足のときにかんがい水として利用できるんだ！

日本最大のため池「満濃池」

・ため池の多い讃岐平野（香川県）の中でも一番大きいのは、満濃池。

701～704年に国守道守朝臣によって作られた。821年には、有名な僧、空海（弘法大師）が修築したと言われているため池。

このため池の下流におよそ60の子池を持つ親池なのだ。

現在の満濃池は、約3,000haの田を潤してるぞ。



水に関するQ & A



Q

「ため池」ができたのはいつ？

A

古墳こふんが作られはじめた4世紀ごろから、ため池も作られるようになったんだ。古墳こふんもため池も、大工事だいこうじによってできるもの。鉄製の道具てつせい どうぐと多くの人の手、そして、それらしじを指示する力の強い者がいるからできたのだぞ！

Q

「ため池」はなぜ必要なの？

A

ため池は川の流れから水を引いてくるのじゃが、もし、必要ひつようなときに川に水がないともう大変じゃ！

そこでため池が活躍かつやくすのだ！冬の間ふゆや梅雨あいたの時に水をためておいてこの水を使うのじゃ！いざつゆというときに

水がないと争あらいい事ことがおきるからの～！



土地改良区の愛称の決定について



【愛称の目的】

土地改良区の愛称は、21世紀土地改良区創造運動の一環として、また重要な手段として、土地改良区自らが今日的な役割を認識しつつ、土地改良区が身近で親しみやすい組織として、地域にそして広く国民に認識してもらうことを目的として考えられました。



【決定した土地改良区の愛称及び説明】

土地改良区の愛称

「**みどり
水土里ネット**」と決定いたしました。



「水土里ネット」の意味について

「水土里」の各意味は、「水」は農業用水・地域用水などを、「土」は土地、農地、土壌などを、「里」は農村空間や農家・非農家の生活空間などを意味しています。

また、「水土里」（みどり＝緑、グリーン）には、“自然”や“環境への負荷を少なくする”の意味があり、豊かな自然環境や美しい景観を意味し、さらにはおいしい水、きれいな空気など清廉なイメージなどを表現しています。

「水土里ネット」には、全国の40万kmに及ぶ水路などのネットワークや、人、物、情報のつながりにより、農家のみならず地域住民や都市住民と連携して、国民共有の財産である美しい農村を創造する役割を果たしていこうという意思が表現されています。